

## 巻頭言

# 「プロジェクトマネジメント研究報告」創刊に寄せて

Preface:

For the First Issue of *Project Management Research Report*



「プロジェクトマネジメント研究報告」の創刊を皆さんと喜びたいと思います。PMI 日本支部には 30 を超える部会（委員会、研究会）があり、会員の皆さんがボランティアとして限られた時間をやり繰りして関心のあるテーマを研究し、活動成果は毎年 PMI 日本フォーラムで発表しています。PMI 日本支部は PMI の最新動向の紹介や、標準書の翻訳・出版、セミナー開催等に加え、会員研究活動を行い、成果を発表するという世界に例のない活動を行っています。

この研究活動の成果をアーカイブとして残したいと以前から考えておりましたが、このたび「プロジェクトマネジメント研究報告」として各研究会からの活動成果をまとめ本誌を発刊する運びとなりました。13 部会（委員会・研究会）から 18 編の報告書の提出があり、皆さんの意欲と挑戦に敬意を表したいと思います。

私たちは今 AI、IoT やビックデータに象徴される、基盤技術の急速な発展だけではなくそれらの活用といった環境変化に直面しており、プロジェクトマネジメントも変化が求められています。その変化への対応を PMI 日本支部の会員の皆さんの経験や考察を交え、研究した成果です。

本誌をお読みいただければプロジェクトマネジメントの最前線の実務に関わる貴重な知見に触れることができ、プロジェクトマネジメントに携わる人々にとってヒントを得ることができると思っております。

将来的に論文集といった形での発行を検討していくための検討を継続し、2021 年度は早期に依頼を進め、部会または、会員個人の部会テーマに沿った研究成果を論文形式で提出いただき内容の充実を図る所存です。

本誌が皆さんの実務の一助となることを期待しております。

PMI 日本支部 会長

片江 有利

Aritoshi KATAE

President, PMI Japan Chapter